

6月24日：大型株の下落で二日続落

水曜日は多くのブルーチップが下落し、VN 指数は前日比 0.98%安の 859.71 ポイントで引けた。

VN 指数を算出しているホーチミン取引所では、268 銘柄が下落したのに対し、上昇したのは 99 銘柄だった。

前日に比べて売買代金は 30%減少し、5.04 兆ベトナムドン（2.17 億米ドル）とホーチミン市場の平均的な売買代金を下回った。

時価総額の大きい上位 30 銘柄で構成する VN30 指数は、前日比 0.74%下落し、22 銘柄が下落したのに対し 4 銘柄が上昇した。

下落幅では民間銀行のサコムバンク（STB）が最も大きく 3%の下落となり、不動産デベロッパーのビンホームズ（VHM）が 2.6%、大手ビールメーカーのサベコ（SAB）が 2.4%、証券の SSI が 2.2%の下落と続いた。

民間銀行では、VP バンク（VPB）が 2%、HD バンク（HDB）が 0.9%、テックコムバンク（TCB）が 0.7%下落したのに対し、イグジムバンク（EIB）は始値を上回った。

国営大手 3 銀行では、ベッティンバンク（CTG）、ベトコムバンク（VCB）、BIDV バンク（BID）がそれぞれ 1.9%、1.5%、1%下落した。

石油・ガス銘柄も軟調で、ペトロベトナムガス（GAS）が 1.8%、PV パワー（POW）が 1.4%、Petrolimex(PLX)が 0.8%下落した。

2 日連続で値幅制限いっぱいを買われていたコテコン建設（CTD）は 0.7%下落した。

同社は月曜日に役員二人の退任を発表し、シンガポールに拠点のある Kustocem 社と The8th 社から、代替として二人の役員を招くとしていた。この 2 社はコテコン建設の株式をそれぞれ 18.23%、10.42%保有している。

反対に、ジュエリーの小売である PNJ は 1%上昇し、大手乳業の VNM も 0.9%上昇した。

ホーチミン市場で最大の時価総額を有するコングロマリットの VIC は 0.5% 上昇し、国営銀行のミリタリーバンク (MBB) も 0.3% 上昇した。

VN30 銘柄で最大の上昇となったのは IT サービスの FPT で、1.2% 上昇した。またエネルギー大手のペトロベトナムガス (GAS) も 1.1% 上昇した。

中小型株が中心のハノイ市場では HNX 指数が 0.81% 下落し、未上場銘柄が登録されている UPCOM 市場では UPCOM 指数が 0.18% 上昇した。

外国人投資家は 3 市場合わせて 530 億ドン (228 万米ドル) を買い越し、ペトロリメックス (PLX)、VN ダイヤモンド指数に連動する ETF である FUEVFNVD など買いが集まった。

VN ダイヤモンド指数は 14 銘柄で構成され、TCB、VPB、MBB、MWG、PNJ、CTG、FPT などのブルーチップを含む。同指数は昨年 11 月にホーチミン市場で算出を開始し、ETF の FUEVFNVD は今年 5 月 12 日から売買が開始された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。